

# 稲作速報

第2号

発行 JA金山 営農部

・育苗管理(前半)のポイント  
・米契約栽培米  
・春農情報他

## いよいよ米づくりのスタート 安定稲作は苗づくりから!

今年の冬は暖冬傾向にあったが、3月下旬からの冷え込みにより時折雪が降るなど、春農作業には若干はやい様子だが、今後は慌てず焦らず適期作業を進めて行きたい。また、今年は冷夏の予想で6月以降曇りや雨の日が多くなる予報が出ており、「天候に左右されない稲づくり」を進めよう。また、昨年、一年と悩まされた「フキ」対策も講じていきたい。

いよいよ苗づくりが始まる。昔から「苗半作」と言われる様に、「健苗づくり」が安定稲作の第一歩。米づくりは「適期適正管理」が前提となるので、先にも書いた通り慌てずゆったりとした心持ちで、時期に合わせた育苗・農作業を進めてほしい。周りに惑わされず、省略し過ぎず、稲の生育を見極め、今年も一年計画的に進めて行こう。

### 「金山型契約栽培稲作」の安定生産づくり

金山稲作の組立ては、「偏穂重型」での生育ステージと収量構成とし、稚苗でもやや深めの水管理と穂肥のできる安定的な稲づくり。時代が求める「環境保全型稲作」を中心に、適期適正管理による品質向上・安全安心米づくりに向けてい。

苗づくりの技術としては、特に変わった事は無いので、基本を守り、適切な育苗管理とし、まずは失敗しない事が一年のスタート。毎年「ヤケた」人が出ますので、下記管理に充分注意し、きめ細かな育苗管理に心掛けましょう。心配な時は、必ず営農部まで一報下さい。

尚、米づくりに当たって、「米情勢と生産販売方針」を確認する場としての、「契約栽培米推進大会(裏面案内)」を開催します。お気軽に多数参加下さる様お願い致します。特に混乱する米情勢が予想される中、全農東日本販売営業所所長を招いての最新の米情勢と販売事情等を学び、一層の売れる米づくりに向けて行きたい。  
これから育苗・本田と春農作業が続きますが、「健苗育成」と基本技術の励行により、計画作業・安全作業を進めよう。

## ～育苗管理(前半)のポイント～

— 育苗作業は、田植え日から逆算して約30日前より進めよう! —

### 1、催芽・“ハト胸”で健苗づくり。—今年も、特に出芽不良や不揃いに注意!—

- ・今年の浸種(水つけ)期間も、水温がやや低く、積算温度(吸水)不足傾向にあるので1~2晩位、風呂湯等に追加浸漬すると良い。
- ・温度は30~32℃とし、品種によっても異なるが、1昼夜~1昼夜半位でハト胸状態(1mm)厳守にし、半日~1日陰干しする。尚、芽切れが悪い場合はやや長めに催芽し、出芽不良や不揃いに注意する。

### 2、は種・種籾は均一には種しよう。—必ず催芽を確認してから、は種!—

苗の種類	播種量(催芽籾)	育苗日数	必要箱数	苗令	苗丈	第1葉鞘長
稚苗	180~200g	25~30日	23箱	2.5葉	13cm	3.5cm
中苗	120~150g	35~40日	28箱	3.0葉	15cm	2.5cm

- ・は種時のかん水量は、1箱当り10位とし、特に床土の種類(培土・赤土・砂系など)やピートモス等の混合によって、水の浸透度合いが違うので、播種機のかん水位置と水量に注意し、覆土後に「しみ上がる程度」とする。(注意! : 多すぎると発芽不揃い、少なすぎると根上り・根張り不足現象になりやすい)

### 3、出芽・発芽長は1cmを厳守する。—できるだけ加温出芽(育苗器)で!—

加温出芽(育苗器)(2日)	無加温出芽(5~7日)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・育苗器の温度は30~32℃とする。</li> <li>・育苗器によって、設定温度に上がるまでの時間差もあるので、苗出しを考慮して電気を入れる。</li> <li>・ハウスへの苗出しは、午前中に出すようにし、好天時は“白化苗”を防ぐ為に、並べ終り次第順次かん水し、マット等をかけていく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・積み重ね方式・は種後ハウス内に、角材・くい等を敷き、8~10段に重ねマット等をかぶせる。天候にもよるが、3日位で上箱の発芽が少し見え始めたら、上下の積み返しを行い2日位で揃う。</li> <li>・ベタ置き方式・は種後ハウス内に並べ、すぐにマット(ミラーシート)をかける。天候にもよるが、約7日位で発芽する。どうしても乾燥や覆土の持上りがあるので、発芽揃いで1回軽くかん水する。</li> </ul>

### 4、緑化・マットをかけてのハウス管理(2~4日)。=この期間が「ヤケ苗発生」(高温障害)多い! =

- ・加温・無加温出芽苗ともに、発芽後~1.5葉の2~4日間位(天候によって前後)をマット(ミラーシート等)をかけて、品種によっても違うが3~5cm位の長さになったらマットをはぐ。(はえぬき、あきたこまちについては4~5cm、出羽燦々・美山錦・ヒメノモチは3~4cmが目安)
- ・水管理・天候等にもよるが、マットをかける前はたっぷりかん水する。箱毎の水分を一定にするためでもあり、土の持上りを落とす為でもある。尚、かん水は、早朝もしくは午前中とする。
- ・温度管理・基本的には日中30℃以下、夜間10℃以上とし、天候の良い日は、早めに(朝7時頃)ハウスの腰下部分を明け、夜間温度を保つ為に、午後早めに(3時頃)ハウスを閉める。ハウスビニールの新しい物(1~2年目)程、かなりの高温になるので、心配なときは必ずハウスを大きく開ける。マットをかけたての当日の幼苗が、高温が一番弱く(第1葉展開まで)、“ヤケ”やすいので充分注意する。風の強い日は、小さく開けてよい。ほとんどのひどい“ヤケ苗”は、この期間(マットかけ時)に発生!

### 5、育苗病害対策・苗立枯れ病他

- ・肥料入り床土使用で、タチガレンを使わなかった人は、出芽後ハウスに並べた時又は、緑化後にかん水代わりにタチガレエース液剤500倍液を1箱当たり500cc散布する。(使用法:水100Lに200ccを溶かし200箱に散布) ~硬化苗管理は次号で~

※心配な時や苗がおかしいと思ったら、すぐに連絡下さい。連絡先はコチラまで

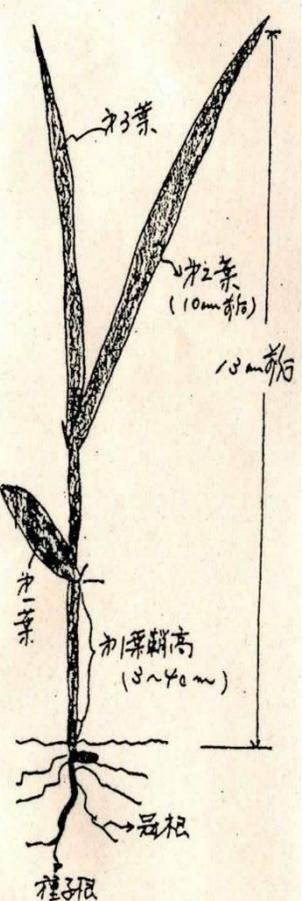
営農部 52-2892 <長倉 携帯 080-2800-8119>

### 育苗作業計画

<※日曜主体の人>

4/18	催芽
4/21	は種
(日)	出芽
	(育苗器)
4/24	緑化
	(苗出し・マット)
4/27	硬化
	(マットなし)
↓	
5/19	田植え
(日)	

### 稚苗目標苗



## 平成30年産県内品種別食味ランキング

日本穀物検定協会は、平成30年産米の品種別食味ランキングを発表。「つや姫」は9年連続で特Aランクを獲得し、「はえぬき」は特Aランクへの帰りを果たし、また、昨年より一般作付が始まった「雪若丸」は2年連続で特Aランクを獲得した。平成30年産では、新潟県魚沼産の「コシヒカリ」特Aに復帰した他、今回特Aに移行した品種が合計18品種あった。

品種名	地区	平成30年産 ランク	平成29年産 ランク	平成28年産 ランク
つや姫	村山	特A	特A	特A
	最上	特A	特A	特A
はえぬき	最上	A	A	A
	庄内	A	A	A
雪若丸	村山	特A	—	—
	最上	特A	—	—

※ぜひ、お誘いの上に参加下さい。

- (三) 平成31年度の取組み方針、当面の稲作管理他
- (四) 第11回金山農協稲作推進協議会総会
- (五) 閉会

・全農東日本米穀販売事業所 所長 中 康 氏

- (一) 開会・挨拶
- (二) 基調講演
- (三) 「全農の取組内容と消費地の情勢」

### 三、内容

- 一、日時 4月17日(水) 午後6時半～8時(受付6時)
- 二、場所 金山町農村環境改善センター

「信頼される産地づくりに向け、ともに学ぼう」  
 契約栽培米も、全体の約98%に定着してきている中で、今年で22回目の推進大会を左記の日程で行います。  
 変化する米情勢・米販売の最前線を学び、金山稲作の確立を進めていこう!

## 「契約栽培米推進大会」の開催案内

## ＝ 春 農 情 報 ＝

### 1) 特別栽培米(出羽燦々)「減農薬50%+減化学肥料50%以下」

減農薬減化学肥料栽培基準(慣行比50%減)			
減農薬基準	減化学肥料基準		
※下記の減農薬基準とする。	施肥方法	肥料名	10a施肥量
	元肥	堆肥又はケイフン	堆肥1～2t又はケイフン4～5袋
		尿素有機入り化成500(有機N4%) (15-10-10)	15～20kg
	追肥	尿素有機入り化成500(有機N4%) (15-10-10)	10kg

### 2) ブランド栽培米(出羽燦々)「GAP 認証+シリカタント栽培+低農薬栽培」

施肥方法	肥料名	10a当り施肥量	備考
土づくり	天の恵み14号(砂状)	80kg(4袋)	
元肥	※肥料限定なし	N成分 4～5kg	
追肥①	※肥料限定なし	N成分 2kg	出穂前20～25日
追肥②	例)スーパーケイサン	15kg(1袋)	出穂前10～20日

※スーパーケイサン以外の資材でもよい

### 3) 減農薬栽培「減農薬比50%以下」

使用項目	使用農薬			基準1 標準 主体	基準2 資材 主体
	名称(商品名)	使用量	成分		
種子消毒	テクリードCフロアブル	40cc/10a	1	○	
〃	エコホープ又は温湯消毒	200倍・60℃	0		○
育苗消毒	タチガレン粉剤・液剤	7g・1cc/箱	1	○	○
箱処理剤	スタウトダントツ箱粒剤	50g/箱	2	○	○
除草剤	メテオ粒剤	1kg	1		○
〃	ピクトリーZ又はキマリテ 粒剤・ジャンボ・フロアブル	1kg・400g 500cc	2	○	○
〃	バサグラン粒剤・液剤	3k・500cc	1	○	○
イモチ病	コラトップ粒剤	1kg	1		○
〃	ビーム粉剤・ゾル	3kg・120cc	1	○	
〃	カスミン液剤	120cc	0	○	○
紋枯病	バリダシン粉剤・液剤	3kg・120cc	0	○	○
稻こうじ病	Zボルドー粉剤DL	3kg	0	○	○
殺虫剤	トレボン粉剤・乳剤	3kg・60cc	1	○	○
〃	キラップ又はスタークル 粉剤・フロアブル・液剤	3kg・ 60・120cc	1	○	○

### 1. 一気象予報情報一

近年の異常気象とあわせ、今年は冷夏の予想となっており、夏場の長雨などが心配されるところです。(下記参照)また、雪解けが進み、農作業が始まっていますがハウス補修等は早目に進め、苗づくりはあまり急がないようにしましょう。

また、野ねずみ等の被害にも注意が必要です!

### ○長期予報

- ・向こう1カ月気温は低く、平年に比べ曇りや雨の日が多い予想です。
- ・6月～7月は曇りや雨の日が多く、その後は平年に比べ晴れの日が少ない見込みです。

### 2. 一「環境保全型稲作」の進め方(左表)一

時代が求める米づくりの一環として、今年も立地条件を生かし、自然環境にやさしい・配慮する「環境保全型稲作」に努めます。

今年の各品種による栽培基準は、左表の内容です。

#### 1) 特別栽培米…出羽燦々、つや姫

※つや姫は認証扱い

#### 2) ブランド栽培…出羽燦々(GAP認証+シリカタント)

#### 3) 減農薬栽培…はえぬき、ヒメノモチ等

### 3. 一 契約米品種対応 一

前回今年の作付計画を示しましたが、今後とも、“販売優先”という観点から、は種・田植えの段階で、契約品種のはえぬき・あきたこまち・酒米・モチ米を優先的に作付して下さい。尚、契約は例年通り、5月下旬の米契約時となります。

### 4. 一 営農部生産資材情報 一

今年も低コスト生産に向けた、低コスト資材の供給と低価格化等に努めます。また資材情報は、随時紹介して行きます。

尚、**生産資材窓口は、4月より休日も対応致します**ので、ぜひお気軽にご利用願います。また、**春肥料の自己引取りは、2～3日前に連絡をお願いします**。